

特別展

銀箔押白糸菱綴  
二枚胴具足  
犬山城白帝文庫蔵

# 成瀬 正虎

伝 - その生涯と  
犬山城下町 -

2026

10.28 水 → 12.2 水

城とまちミュージアム

(犬山市文化史料館・犬山城白帝文庫歴史文化館)

| 開館時間 | 9:00~17:00

入館は16:30まで 会期中休館日なし

| 入館料 | 300円／中学生以下無料

(IMASEN犬山からくりミュージアム 玉屋庄兵衛工房を含む)

※30名以上の団体 240円 ※犬山城下町周遊券(一般) 1200円

| 主 催 | 公益財団法人 犬山城白帝文庫

| 後 援 | 犬山市教育委員会

公益財団法人 犬山城白帝文庫

〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券8(城とまちミュージアム内)

TEL.0568-62-4700 FAX.0568-61-5765

成瀬正虎像(部分)  
白林寺蔵

特別展

# 成瀬正虎

## 伝 - その生涯と 犬山城下町 -

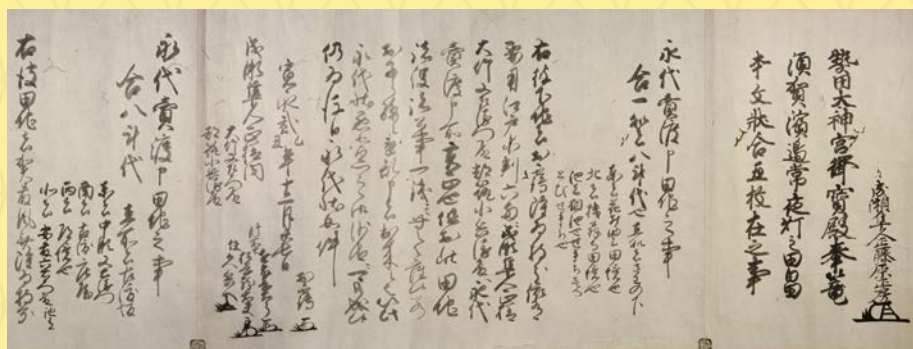
元和3年(1617)、犬山成瀬家初代の正成は將軍徳川秀忠から犬山城を拝領しました。それ以来、幕末まで9代にわたって犬山は成瀬家の城下町ですが、その基礎を築いたのは2代成瀬正虎(1594～1663)です。

正虎は、正成の長男として生まれ、徳川秀忠の<sup>つけがらう</sup>小姓から経歴をスタートしました。父の没後は付家老として尾張藩の初期藩政をささえるとともに、幕政にも関わりました。また犬山城の整備、街道の付け替えや市の開設、祭礼の振興などをおこない城下町の振興にも力を尽くしました。犬山に成瀬家の菩提寺を設けたのも正虎のときと伝えます。

本展では、武将、政治家、領主として活躍した、「頼もしい二代目」である成瀬正虎の生涯を紹介するものです。



成瀬正虎像(成瀬家六影像のうち) 臨溪院蔵



成瀬正虎夜燈料田畠寄進状 熱田神宮蔵



明版大蔵經  
暮戸教会蔵(岡崎市指定文化財)



徳川義直画像(模本) 徳川美術館蔵  
©徳川美術館イメージアーカイブ/DNPartcom

### 展示説明会

11月7日(土) 14:10～ 当館学芸員が展示解説します。

### 犬山城・上廣 歴史文化フォーラム

演題 「豊臣政権と尾張」  
講師 播磨 良紀氏(中京大学名誉教授)  
日時 11月14日(土) 13:30～15:00(13:00開場)  
会場 犬山市民交流センター「フロイデ」4階フロイデホール(愛知県犬山市松本町4丁目21)  
定員 300名(予約不要、先着順。定員になり次第締め切り)  
入場料 無料 ※手話通訳あります  
主催 公益財団法人 犬山城白帝文庫・公益財団法人 上廣倫理財団  
後援 文化庁・愛知県教育委員会・犬山市教育委員会

#### 交通案内

電車 名鉄犬山線「犬山駅」または「犬山遊園駅」下車、徒歩15分  
駐車場 城とまちミュージアム北側駐車場(8台)  
またはキャスルパーキング(有料)をご利用ください。

